

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②高金利通貨で為替取引を行います。	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブの直接利用は行いません。株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	有価証券の空売りは行いません。純資産総額の10%を超える借入れを行いません。投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース

第125期（決算日	2022年3月10日）
第126期（決算日	2022年4月11日）
第127期（決算日	2022年5月10日）
第128期（決算日	2022年6月10日）
第129期（決算日	2022年7月11日）
第130期（決算日	2022年8月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース」は、このたび第130期の決算を行いましたので、第125期～第130期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率 %	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金				
	円		円			%	百万円	
101期(2020年3月10日)	2,630		40		—	94.7	2,832	
102期(2020年4月10日)	2,282		40	△12.2	—	95.0	2,420	
103期(2020年5月11日)	2,161		40	△ 3.5	—	93.8	2,298	
104期(2020年6月10日)	2,491		30	16.7	—	94.6	2,669	
105期(2020年7月10日)	2,410		30	△ 2.0	—	94.9	2,534	
106期(2020年8月11日)	2,307		30	△ 3.0	—	94.5	2,404	
107期(2020年9月10日)	2,355		30	3.4	—	95.3	2,451	
108期(2020年10月12日)	2,250		30	△ 3.2	—	94.5	2,328	
109期(2020年11月10日)	2,286		30	2.9	—	96.4	2,338	
110期(2020年12月10日)	2,353		30	4.2	—	96.3	2,395	
111期(2021年1月12日)	2,287		30	△ 1.5	—	95.7	2,272	
112期(2021年2月10日)	2,343		30	3.8	—	96.3	2,306	
113期(2021年3月10日)	2,260		30	△ 2.3	—	94.8	2,210	
114期(2021年4月12日)	2,316		30	3.8	—	95.5	2,243	
115期(2021年5月10日)	2,367		30	3.5	—	95.5	2,285	
116期(2021年6月10日)	2,389		30	2.2	—	96.5	2,039	
117期(2021年7月12日)	2,282		30	△ 3.2	—	96.1	1,945	
118期(2021年8月10日)	2,213		30	△ 1.7	—	95.7	1,885	
119期(2021年9月10日)	2,247		30	2.9	—	95.7	1,902	
120期(2021年10月11日)	1,982		30	△10.5	—	96.0	1,657	
121期(2021年11月10日)	1,756		30	△ 9.9	—	95.2	1,457	
122期(2021年12月10日)	1,635		30	△ 5.2	—	94.8	1,317	
123期(2022年1月11日)	1,612		30	0.4	—	94.6	1,291	
124期(2022年2月10日)	1,631		30	3.0	—	95.5	1,311	
125期(2022年3月10日)	1,446		30	△ 9.5	—	95.3	1,162	
126期(2022年4月11日)	1,633		30	15.0	—	95.2	1,313	
127期(2022年5月10日)	1,561		30	△ 2.6	—	95.1	1,260	
128期(2022年6月10日)	1,558		30	1.7	—	94.7	1,273	
129期(2022年7月11日)	1,405		30	△ 7.9	—	94.8	1,156	
130期(2022年8月10日)	1,360		30	△ 1.1	—	94.8	1,084	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス3)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	率
第125期	(期 首) 2022年 2月10日	円 1,631		% —		% —		% 95.5
	2月末	1,572	△ 3.6		—		94.9	
	(期 末) 2022年 3月10日	1,476	△ 9.5		—		95.3	
第126期	(期 首) 2022年 3月10日	1,446		—		—		95.3
	3月末	1,612	11.5		—		95.8	
	(期 末) 2022年 4月11日	1,663	15.0		—		95.2	
第127期	(期 首) 2022年 4月11日	1,633		—		—		95.2
	4月末	1,581	△ 3.2		—		96.3	
	(期 末) 2022年 5月10日	1,591	△ 2.6		—		95.1	
第128期	(期 首) 2022年 5月10日	1,561		—		—		95.1
	5月末	1,542	△ 1.2		—		95.8	
	(期 末) 2022年 6月10日	1,588	1.7		—		94.7	
第129期	(期 首) 2022年 6月10日	1,558		—		—		94.7
	6月末	1,511	△ 3.0		—		96.1	
	(期 末) 2022年 7月11日	1,435	△ 7.9		—		94.8	
第130期	(期 首) 2022年 7月11日	1,405		—		—		94.8
	7月末	1,385	△ 1.4		—		96.2	
	(期 末) 2022年 8月10日	1,390	△ 1.1		—		94.8	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

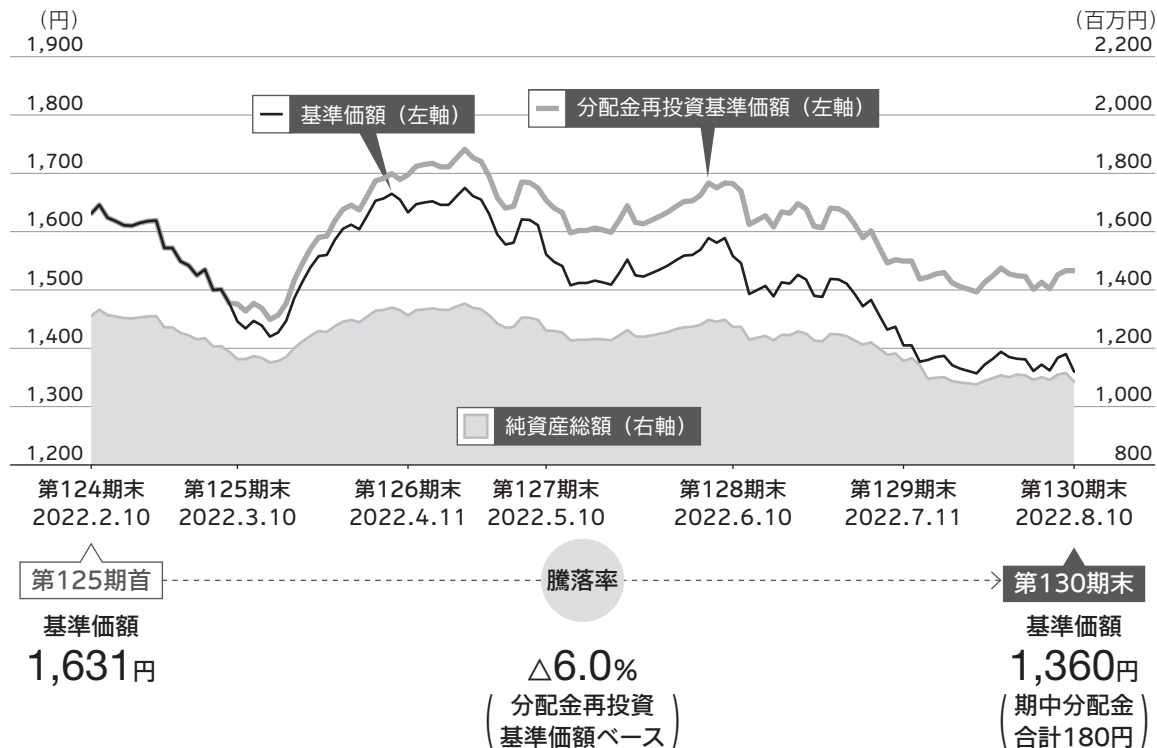
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年2月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス3)」は、ともに為替部分がプラスに寄与した一方、債券部分がマイナスに寄与した結果、分配金再投資基準価額の騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

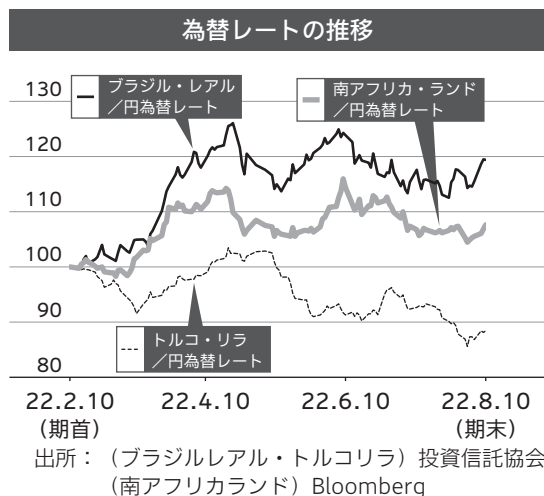
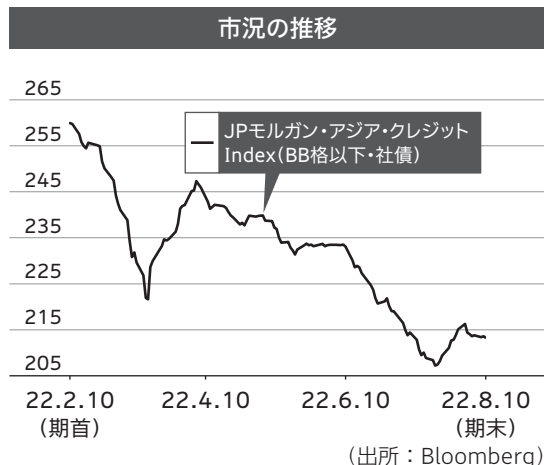
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は下落しました。

米国では、インフレ上昇懸念などを背景にFRB（米連邦準備理事会）による予想を上回るペースでの利上げが実施されたことなどを受けて、米国国債利回りは上昇基調（価格は下落）で推移しました。

アジア・ハイ・イールド債券市場では、米国国債利回りの上昇に加えて、当期後半にかけて米欧経済指標の悪化などから世界的に景気減速懸念が台頭したことなどを受けてクレジットスプレッドは拡大したことから、下落基調で推移しました。

当期の為替市場は、FRBによる利上げ期待を織り込む形で2022年3月から4月にかけて急速に円安ドル高が進みました。

高金利通貨については、FRBによる利上げ観測を背景に円安ドル高が進む中、ブラジルレアル、南アフリカランドは対円で上昇しました。トルコリラについては、ウクライナ情勢の悪化などに加えて、同国中央銀行が金融緩和姿勢を示す中でインフレが加速していることが嫌気され、対円で下落しました。



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与した一方、クレジットスプレッドが拡大したことや米国債券利回りが上昇したことなどから、債券部分はマイナスに寄与しました。

トルコリラが対円で下落したものの、南アフリカランドやブラジルレアルは対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与した一方、クレジットスプレッドが拡大したことや米国債券利回りが上昇したことなどから、債券部分はマイナスに寄与しました。

トルコリラが対円で下落したものの、南アフリカランドやブラジルレアルは対円で上昇したことから、為替部分はプラスに寄与しました。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2022.2.11 2022.3.10	2022.3.11 2022.4.11	2022.4.12 2022.5.10	2022.5.11 2022.6.10	2022.6.11 2022.7.11	2022.7.12 2022.8.10
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	2.033%	1.804%	1.886%	1.889%	2.091%	2.158%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,861	6,874	6,886	6,898	6,911	6,924

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド 高金利通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

地政学的な緊張や各国中央銀行による積極的な金融引き締め姿勢、主要先進国の景気減速懸念などのリスク要因により、市場センチメントは当面弱気が継続する可能性が高いと考えます。中国では、新型コロナウイルスの感染再拡大や長期化する不動産市況の低迷などの影響により、引き続き先行き不透明な状況が続いています。当ファンドでは、市場動向を注視しながら、クレジットの質を重視するとともに、当面先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄の組入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス3）

引き続き主要中央銀行による金融引き締め姿勢や、世界的な景気後退への懸念などが市場のリスク要因になるとみています。中国での新型コロナウイルスの感染再拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）の実施などにより、中国の経済成長は下押し圧力が強まっています。当ファンドにおいては、保有銘柄の価格下落リスクに配慮しつつ、企業の財務健全性や市場の流動性を注視しながら、引き続き銘柄選択に注力し、リスクを抑制したポートフォリオ運営を行う方針です。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第125期～第130期 2022.2.11～2022.8.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	8円	0.502%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は1,533円です。</div>
(投信会社)	(3)	(0.207)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(4)	(0.278)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.010	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.009)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	8	0.512	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

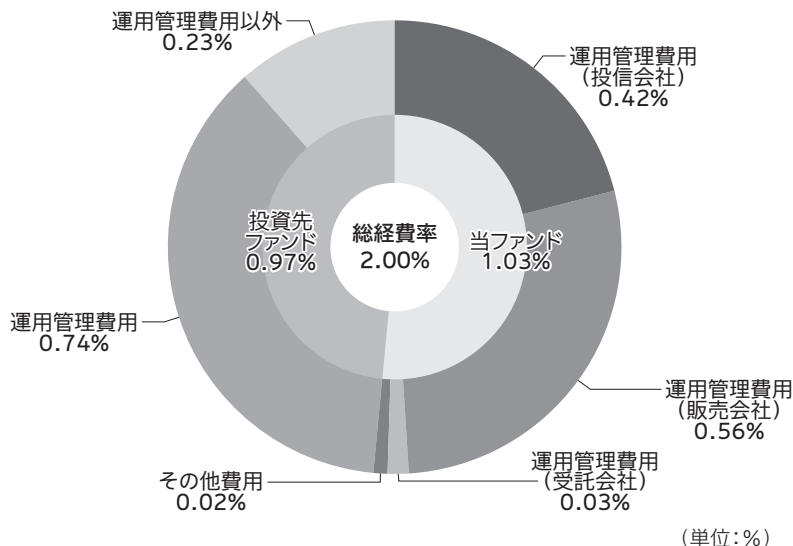
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



総経費率(①+②+③)	2.00
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月11日～2022年8月10日)

投資信託証券

銘柄		第125期～第130期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	432,131	23,000	397,140	20,000
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)	892,589	73,000	273,523	20,000
	合計	1,324,720	96,000	670,663	40,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第124期末	第130期末		
		口数	口数	評価額	比率
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund III	10,638,497	10,673,487	521,784	48.1
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 3 (HYC)	6,457,980	7,077,046	506,284	46.7
	合計	17,096,477	17,750,533	1,028,068	94.8

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄	第124期末		第130期末	
	口	数	口	数
マネーパールマザーファンド		千口 12,611		千口 12,611
				千円 12,613

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第130期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年8月10日現在)

項目	第130期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,028,068	92.0
マネーパールマザーファンド	12,613	1.1
コール・ローン等、その他	76,340	6.9
投資信託財産総額	1,117,021	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
	2022年3月10日現在	2022年4月11日現在	2022年5月10日現在	2022年6月10日現在	2022年7月11日現在	2022年8月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,192,516,078	1,339,496,454	1,287,927,296	1,298,789,493	1,183,636,249	1,117,021,183
コール・ローン等	72,026,895	77,102,350	76,245,514	80,602,622	75,635,558	76,339,204
投資信託受益証券(評価額)	1,107,871,085	1,249,777,267	1,199,064,945	1,205,571,295	1,095,386,376	1,028,068,925
マネーパールマザーファンド(評価額)	12,618,098	12,616,837	12,616,837	12,615,576	12,614,315	12,613,054
(B) 負債	29,666,613	26,350,501	27,656,373	25,619,036	27,565,046	32,237,469
未払収益分配金	24,133,511	24,123,074	24,221,089	24,521,761	24,687,883	23,925,690
未払解約金	4,522,622	1,105,379	2,358,766	—	1,798,453	7,377,011
未払信託報酬	991,758	1,101,242	1,055,747	1,076,115	1,058,111	916,302
未払利息	187	228	229	240	—	227
その他未払費用	18,535	20,578	20,542	20,920	20,599	18,239
(C) 純資産総額(A-B)	1,162,849,465	1,313,145,953	1,260,270,923	1,273,170,457	1,156,071,203	1,084,783,714
元本	8,044,503,873	8,041,024,702	8,073,696,534	8,173,920,432	8,229,294,548	7,975,230,261
次期繰越損益金	△6,881,654,408	△6,727,878,749	△6,813,425,611	△6,900,749,975	△7,073,223,345	△6,890,446,547
(D) 受益権総口数	8,044,503,873口	8,041,024,702口	8,073,696,534口	8,173,920,432口	8,229,294,548口	7,975,230,261口
1万円当たり基準価額(C/D)	1,446円	1,633円	1,561円	1,558円	1,405円	1,360円

(注1) 当作成期間(第125期～130期)における期首元本額8,040,429,293円、期中追加設定元本額676,453,861円、期中一部解約元本額741,652,893円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額
第125期0.1446円、第126期0.1633円、第127期0.1561円、第128期0.1558円、第129期0.1405円、第130期0.1360円(注3) 期末における元本の欠損金額
第125期6,881,654,408円、第126期6,727,878,749円、第127期6,813,425,611円、第128期6,900,749,975円、第129期7,073,223,345円、第130期6,890,446,547円

○損益の状況

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2022年2月11日～ 2022年3月10日	2022年3月11日～ 2022年4月11日	2022年4月12日～ 2022年5月10日	2022年5月11日～ 2022年6月10日	2022年6月11日～ 2022年7月11日	2022年7月12日～ 2022年8月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	34,516,549	34,505,000	34,886,432	35,371,345	36,162,395	35,291,016
受取配当金	34,520,379	34,509,610	34,889,665	35,376,034	36,165,879	35,294,674
支払利息	△ 3,830	△ 4,610	△ 3,233	△ 4,689	△ 3,484	△ 3,658
(B) 有価証券売買損益	△ 158,613,842	141,153,431	△ 67,744,573	△ 12,412,063	△ 135,919,620	△ 45,871,917
売買益	500,475	141,946,849	95,908	81,997	259,975	1,358,638
売買損	△ 159,114,317	△ 793,418	△ 67,840,481	△ 12,494,060	△ 136,179,595	△ 47,230,555
(C) 信託報酬等	△ 1,010,293	△ 1,121,820	△ 1,076,289	△ 1,096,223	△ 1,078,710	△ 934,076
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 125,107,586	174,536,611	△ 33,934,430	21,863,059	△ 100,835,935	△ 11,514,977
(E) 前期繰越損益金	△ 3,779,591,851	△ 3,883,242,175	△ 3,695,963,889	△ 3,745,980,422	△ 3,728,251,776	△ 3,647,791,916
(F) 追加信託差損益金	△ 2,952,821,460	△ 2,995,050,111	△ 3,059,306,203	△ 3,152,110,851	△ 3,219,447,751	△ 3,207,213,964
(配当等相当額)	(4,574,767,662)	(4,583,363,028)	(4,615,242,652)	(4,686,350,122)	(4,729,733,821)	(4,605,353,704)
(売買損益相当額)	(△ 7,527,589,122)	(△ 7,578,413,139)	(△ 7,674,548,855)	(△ 7,838,460,973)	(△ 7,949,181,572)	(△ 7,812,567,668)
(G) 計(D+E+F)	△ 6,857,520,897	△ 6,703,755,675	△ 6,789,204,522	△ 6,876,228,214	△ 7,048,535,462	△ 6,866,520,857
(H) 収益分配金	△ 24,133,511	△ 24,123,074	△ 24,221,089	△ 24,521,761	△ 24,687,883	△ 23,925,690
次期繰越損益金(G+H)	△ 6,881,654,408	△ 6,727,878,749	△ 6,813,425,611	△ 6,900,749,975	△ 7,073,223,345	△ 6,890,446,547
追加信託差損益金	△ 2,952,821,460	△ 2,995,050,111	△ 3,059,306,203	△ 3,152,110,851	△ 3,219,447,751	△ 3,207,213,964
(配当等相当額)	(4,574,767,658)	(4,583,363,022)	(4,615,242,646)	(4,686,350,112)	(4,729,733,816)	(4,605,353,693)
(売買損益相当額)	(△ 7,527,589,118)	(△ 7,578,413,133)	(△ 7,674,548,849)	(△ 7,838,460,963)	(△ 7,949,181,567)	(△ 7,812,567,657)
分配準備積立金	945,179,402	944,421,778	944,732,069	952,447,069	957,687,637	917,148,761
繰越損益金	△ 4,874,012,350	△ 4,677,250,416	△ 4,698,851,477	△ 4,701,086,193	△ 4,811,463,231	△ 4,600,381,344

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2022年2月11日～2022年8月10日)は以下の通りです。

項 目	2022年2月11日～ 2022年3月10日	2022年3月11日～ 2022年4月11日	2022年4月12日～ 2022年5月10日	2022年5月11日～ 2022年6月10日	2022年6月11日～ 2022年7月11日	2022年7月12日～ 2022年8月10日
a. 配当等収益(費用控除後)	33,505,370円	34,283,571円	33,809,303円	34,273,925円	35,082,799円	34,355,907円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	4,574,767,658円	4,583,363,022円	4,615,242,646円	4,686,350,112円	4,729,733,816円	4,605,353,693円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	935,807,543円	934,261,281円	935,143,855円	942,694,905円	947,292,721円	906,718,544円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,544,080,571円	5,551,907,874円	5,584,195,804円	5,663,318,942円	5,712,109,336円	5,546,428,144円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,891円	6,904円	6,916円	6,928円	6,941円	6,954円
g. 分配金	24,133,511円	24,123,074円	24,221,089円	24,521,761円	24,687,883円	23,925,690円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

○分配金のお知らせ

	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

<分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)</p>			
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)			
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。</p> <table border="1" data-bbox="395 374 1259 409"> <tr> <td>高金利通貨</td> <td>クラス3</td> </tr> </table>		高金利通貨	クラス3
高金利通貨	クラス3			
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。</p>			
決算日	毎年12月31日			
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>			
申込・解約手数料	ありません。			
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド			

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
銀行利息	824
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益/損失 (△)	△15,065,074
為替差損益	△ 1,927
損益合計	△15,066,177
費用	
支払利息	△ 341
投資運用報酬	△ 626,293
投資運用報酬 払戻料	31,370
管理報酬	△ 36,599
監査報酬	△ 44,106
保管報酬	△ 32,607
受託者報酬	△ 14,991
その他営業費用	△ 64,653
営業費用合計	△ 788,220
税引前・分配前利益 (損失)	△15,854,397
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	△15,854,397
分配金	△13,052,827
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△28,907,224

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2021年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
VEDANTA RESOURCES LIMITED 6.375% 30-JUL-2022	インド	6.375%	2022/7/30	3.9%
HUARONG FINANCE 2017 CO. LTD. 4.0% PERP	中国	4.000%	永久債	3.8%
POWERLONG REAL ESTATE HOLDINGS LTD. 7.125% 08-NOV-2022	中国	7.125%	2022/11/08	3.8%
RIZAL COMMERCIAL BANKING CORPORATION 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%
SMC GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%
CHINA HONGQIAO GROUP LTD. 6.25% 08-JUN-2024	中国	6.250%	2024/6/8	2.9%
TMBTHANACHART BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.9% PERP	タイ	4.900%	永久債	2.7%
WANDA PROPERTIES OVERSEAS LTD. 7.25% 28-APR-2022	中国	7.250%	2022/4/28	2.7%
ABJA INVESTMENT CO. PTE LTD. 5.45% 24-JAN-2028	インド	5.450%	2028/1/24	2.6%
SEAZEN GROUP LTD. 6.45% 11-JUN-2022	中国	6.450%	2022/6/11	2.5%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス3)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	高金利通貨	クラス3
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△3,966,642
為替差損益	△ 8,268
受取利息	1,493
収益合計	△3,973,417

費用

投資運用報酬	197,178
管理報酬	16,001
監査報酬	32,710
保管報酬	5,864
名義書換費用	6,501
受託者報酬	12,025
その他営業費用	15,972
営業費用合計	286,251

営業損失 △4,259,668

分配金 △4,945,511

税引前・分配後損失 △9,205,179

税金 —

税引後・分配後損失 △9,205,179

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少 △9,205,179

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2021年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	4.9%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.7%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	3.5%
WANDA PROPERTIES OVERSEA 6.95% DUE 05/12/2022	中国	6.950%	2022/12/5	2.9%
YANLORD LAND HK CO LTD 6.8% DUE 27/02/2024	中国	6.800%	2024/2/27	2.8%
GEMDALE EVER PROSPERITY 4.95% DUE 26/07/2022	中国	4.950%	2022/7/26	2.8%
SMC GLOBAL POWER HLDGS 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	2.6%
DAH SING BANK LTD 5% DUE 15/01/2029	香港	5.000%	2029/1/15	2.4%
VLL INTERNATIONAL INC 7.25% DUE 20/07/2027	フィリピン	7.250%	2027/7/20	2.4%
PEAK RE BVI HOLDING LTD 5.35% DUE 31/12/2199	香港	5.350%	永久債	2.4%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2022年8月10日）

＜計算期間 2021年8月11日～2022年8月10日＞

マネープールマザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
7期(2018年8月10日)	円 10,032		% 0.0	% 75.1	百万円 1,339
8期(2019年8月13日)	10,028		△0.0	—	248
9期(2020年8月11日)	10,019		△0.1	—	182
10期(2021年8月10日)	10,011		△0.1	—	133
11期(2022年8月10日)	10,001		△0.1	—	87

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率
				騰 落	率			
	(期 首)		円		%			%
	2021年	8月10日	10,011		—			—
	8月末		10,010		△0.0			—
	9月末		10,009		△0.0			—
	10月末		10,009		△0.0			—
	11月末		10,008		△0.0			—
	12月末		10,007		△0.0			—
	2022年	1月末	10,006		△0.0			—
	2月末		10,006		△0.0			—
	3月末		10,005		△0.1			—
	4月末		10,004		△0.1			—
	5月末		10,003		△0.1			—
	6月末		10,002		△0.1			—
	7月末		10,001		△0.1			—
	(期 末)							
	2022年	8月10日	10,001		△0.1			—

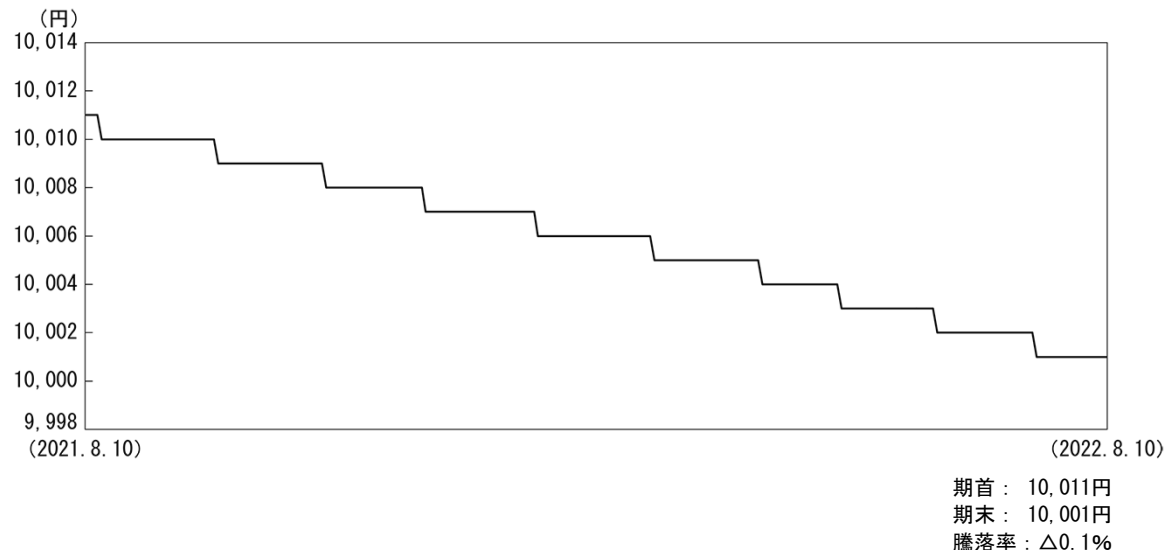
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2021年8月11日～2022年8月10日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年8月11日～2022年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	0	0.005	
期中の平均基準価額は10,005円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2021年8月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月10日現在)

2022年8月10日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 87,680	% 100.0
投資信託財産総額	87,680	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

